

第45回 日野市地域公共交通会議

令和5年7月14日（金）

14時00分開始

次第

- 1 開会
- 2 会長のご挨拶
- 3 議事
 - (1) 令和4年度決算書について 【協議事項】
 - (2) 令和4年度利用者数について 【報告事項】
 - (3) 見直し基準適合状況の検証について 【報告事項】
 - (4) 路線バス立66の代替交通について 【協議事項】
 - (5) デマンド交通の導入検討について 【報告事項】
 - (6) モデル地域におけるボランティア交通の運行 【報告事項】
 - (7) 東豊田3丁目交通空白地域の解消について 【報告事項】
 - (8) 高幡不動駅南口のバス停新設について 【報告事項】
- 4 閉会

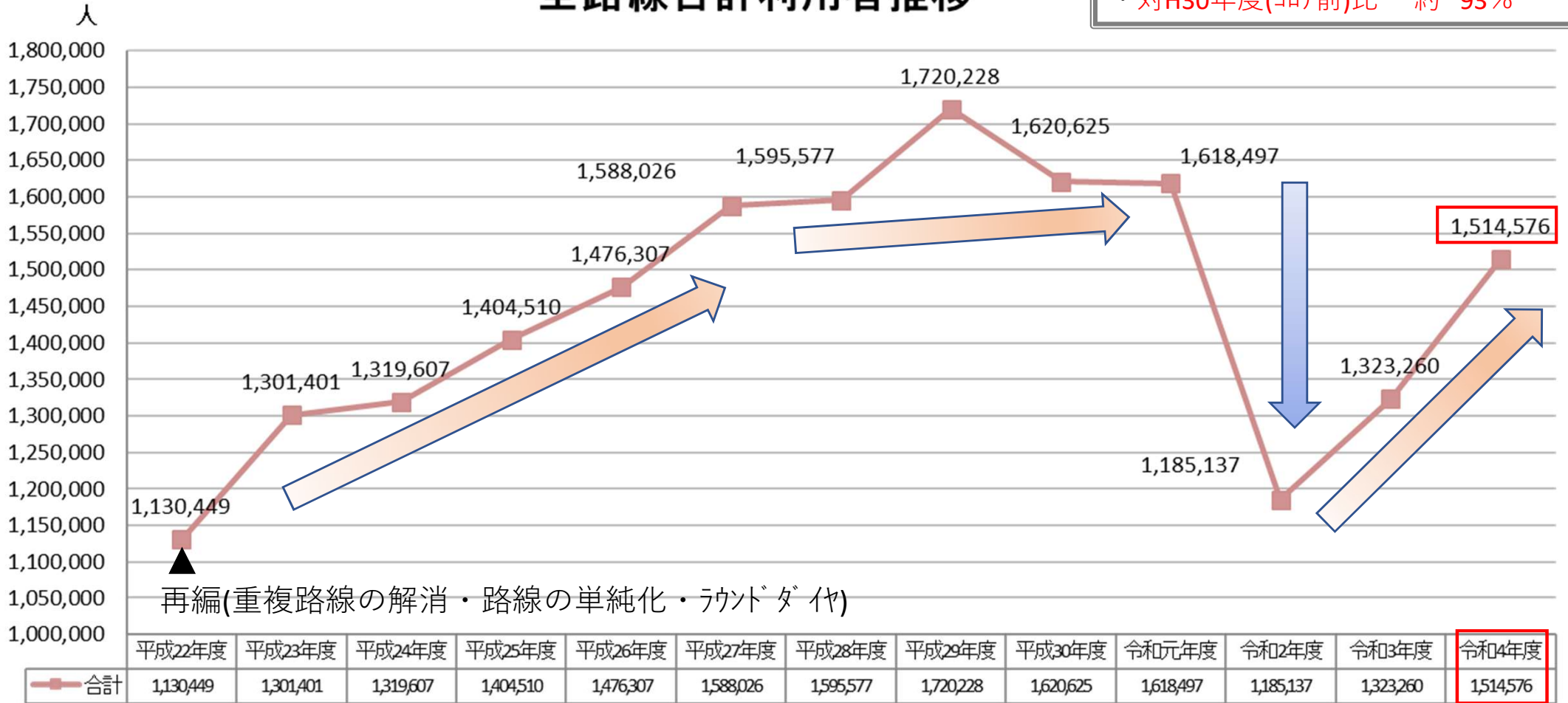
(2) 令和4年度利用者数について(報告事項)

① ミニバス7路線合計 推移

【状況】

- ・ 年度利用者数 約151万人
- ・ 対前年度比 約114%
- ・ 対H30年度(コロナ前)比 約 93%

全路線合計利用者推移



(利用人員は調査による数値を基に算出した推定値)

コロナ禍

②ミニバス 各路線 年度比較表

○：利用者が多い路線

	路線名	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度			便数/日
		利用人数	一日平均	前年比	利用人数	一日平均	前年比	利用人数	一日平均	前年比	利用人数	一日平均	前年比	
1	市内路線	325,199	889	98%	226,464	620	70%	253,855	695	112%	293,453	804	116%	39
2	三沢台路線	319,708	874	99%	230,091	630	72%	254,352	697	111%	297,023	814	117%	50
3	南平路線	443,420	1,212	107%	336,124	921	76%	384,782	1,054	114%	441,096	1,208	115%	78
4	旭が丘循環路線	113,239	309	98%	81,333	223	72%	88,854	243	109%	103,477	283	116%	14
5	落川路線	144,482	395	93%	108,596	298	75%	125,166	343	115%	134,347	368	107%	26
6	平山循環路線	119,407	326	99%	88,901	244	74%	92,406	253	104%	101,503	278	110%	12
7	川辺堀之内路線	153,042	418	95%	113,628	311	74%	123,845	339	109%	143,677	394	116%	26
合計		1,618,497	4,434	100%	1,185,137	3,247	73%	1,323,260	3,625	112%	1,514,576	4,150	114%	

【考察】

コロナ前の
約9割

- ・テレワーク等の新たな生活様式の定着
- ・乗り合うことに、感染リスク懸念し別の手段で移動している可能性

【対応】

- ①周知啓発：引続き基本的な感染症対策について、市広報やHPを通じて周知していく
- ②新たな収入確保：
 - ・ベビーカーでのご利用方法を市HPに掲載
 - ・車体**広告収入**等、収入増になる取り組みについて、運行事業者と共に他コミバスの事例研究

③ミニバス利用者数について補足

参考) ミニバスの利用者数について

→“推計値”であり、実績数ではありません

【利用者数の算出方法】

運転手が全便の降車人数をカウント

↓

【カウント数】－【実数①～④】＝シルバーパス数

↓

【実数①～④】と【シルバーパス数】の割合を算出

↓

各月ごとに【実数①～④】が把握されるため、上記で算出した割合を掛け合わせて【シルバーパス数】を算出し合計しているため、“推計値”としています



課題：シルバーパスの利用者数（実数）が得られない

利用者の約半数がシルバーパス利用と想定されるなか、シルバーパスのIC化がなされれば、実績数が得られる。また、ICカードのログ情報からOD調査の代替ともなり、長期的な基礎資料となり得る。

【支払いパターン】

- ① ICカード
- ② 現金
- ③ 金額式IC定期券(モットクパス)
- ④ 1日乗車券
- ⑤ シルバーパス

利用
実数

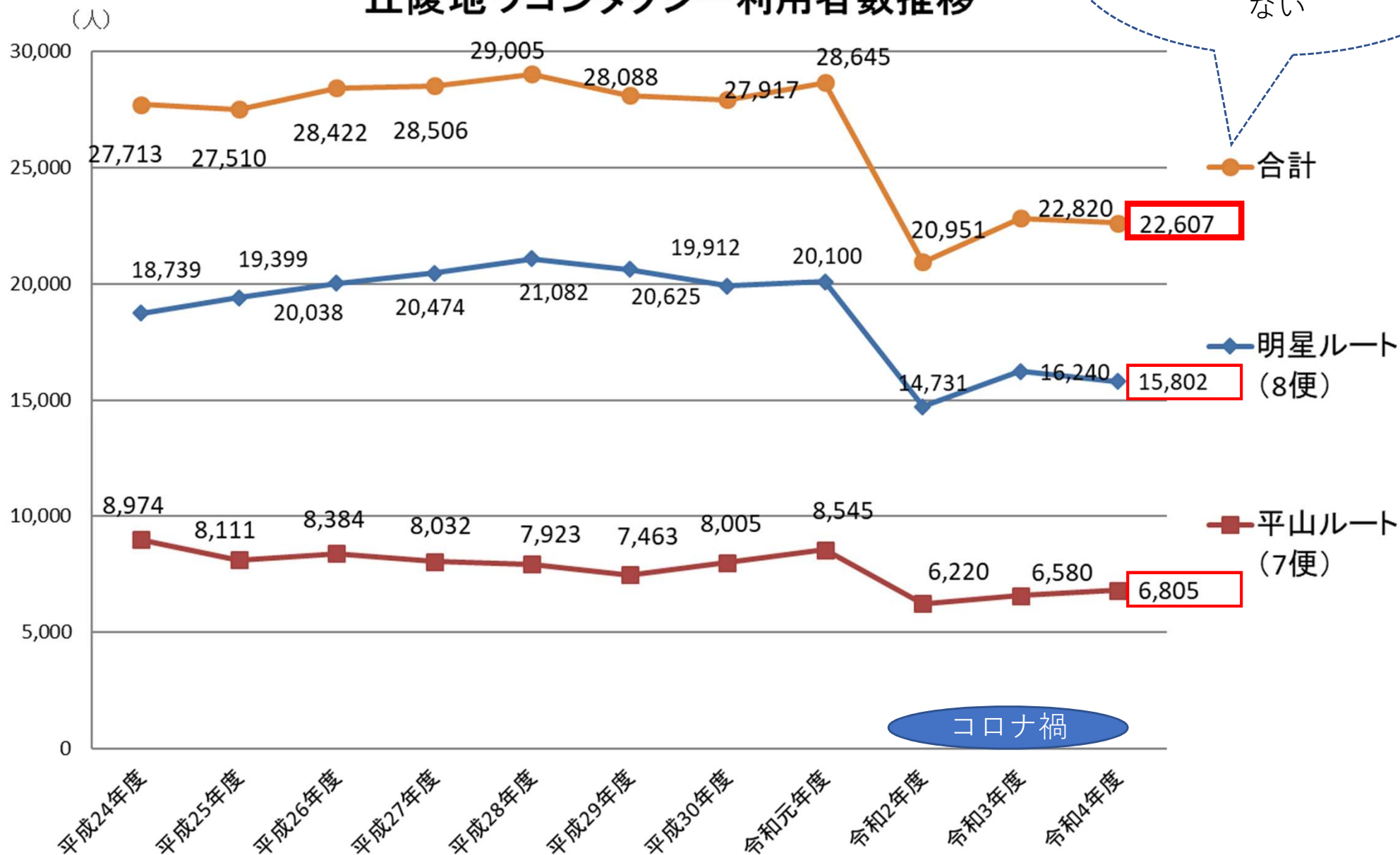
(紙式のカードを運転手に掲示)

平成29年度OD調査

→約50%が
シルバーパスと推測
("高齢者"かつ"支払方法が
現金・ICカード以外")

④ワゴンタクシー 利用者数推移

丘陵地ワゴンタクシー利用者数推移



⑤ワゴンタクシー各路線合計 年度比較表 (平日のみ)

	ルート名	令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		利用人数	一日平均	前年比	利用人数	一日平均	前年比	利用人数	一日平均	前年比	利用人数	一日平均	前年比
1	明星ルート (8便)	20,100	84	101%	14,731	61	73%	16,240	67	110%	15,802	65	97%
2	平山ルート (7便)	8,545	36	107%	6,220	26	73%	6,580	27	106%	6,805	28	103%
	合計	28,645	120	103%	20,951	88	73%	22,820	95	109%	22,607	94	99%

コロナ前の約8割



【状況】

- ・主に日常の外出に利用されているワゴンタクシーも他の公共交通機関と同様の減り幅
- ・令和3・4年度と横ばい傾向

【考察】

- ・普通車に乗り合うことに感染リスク懸念し別の手段で移動している可能性
- ・丘陵地の住宅地の高齢化がより進展し、外出ができなくなっている可能性

コロナ前の約8割

【対応】

- ①周知啓発：引続き基本的な感染症対策について、市広報やHPを通じて周知していく
- ②新規開拓：新たな停留所（平山ルートの東豊田三丁目）の利用者数に期待

(3)見直し適合状況の検証について(報告事項)

“ミニバス及びワゴンタクシーの路線見直し基準”

策定時期 : 令和元年度

準拠計画 : 日野市地域公共交通総合連携計画2019-2028

【過去検証結果】

	ミニバス	ワゴンタクシー
令和元年度	◎全路線クリア	◎全ルートクリア
令和2年度	×落川路線のみ該当	×全ルート該当
令和3年度	◎全路線クリア	◎明星ルート：クリア ×平山ルート：該当

↓
特殊要因(コロナ禍)のため現状維持で運行

①ミニバス 見直し基準適合状況 の検証

【ミニバス 見直し基準】

- ②**需要量に関する基準値** 1段階目“見直し検討**候補**路線への選定基準”
キロ当たり利用者数(年平均値)が1人/km以下
1段階目に該当した場合→2段階目“見直し検討**対象**路線への選定基準”
全ての便において車内最大乗車人数が9人以下
- ③**財政負担額に関する基準値**：**収支率が20%未満**



②または③
一つでも該当した場合
見直し検討対象となる

①ミニバス 見直し基準適合状況の検証

路線名	運行日数	便数/日	年間 利用人数 (人/年)	日平均 利用人数 (人/日)	日運行距 離 (km/日)	㊦1人/km	㊧20%
						キロ当たり 利用人数 (人/km)	収支率
市内路線	365	39	293,453	804	383.79	2.09	43.9%
三沢台路線	365	50	297,023	814	309.55	2.63	56.2%
南平路線	365	78	441,096	1208	508.68	2.38	51.7%
旭が丘循環路線	365	14	103,477	283	108.92	2.60	67.9%
落川路線	365	26	134,347	368	122.85	3.00	25.3%
平山循環路線	365	12	101,503	278	190.32	1.46	27.6%
川辺堀之内路線	365	26	143,677	394	101.01	3.90	98.7%
合計	365	245	1,514,576	4,150	1,725.12	2.41	50.7%

結果

㊦需要量に関する基準値 1段階目“見直し検討候補路線への選定基準”
キロ当たり利用者数(年平均値)が1人/km以下

全路線クリア

㊧財政負担額に関する基準値：収支率が20%未満

全路線クリア

②ワゴンタクシー 見直し基準適合状況 の検証

【ワゴンタクシー見直し基準】

①**需要量に関する基準値** 1段階目“見直し検討**候補**路線への選定基準”

キロ当たり利用者数(年平均値)が0.4人/km以下

1段階目に該当した場合→2段階目“見直し検討**対象**路線への選定基準”

個別にタクシー利用時の合計運賃 < 1便あたりの運行経費

②**財政負担額に関する基準値**：**収支率が15%未満**



①または②
一つでも該当した場合
見直し検討対象となる

②ワゴンタクシー 見直し基準適合状況の検証

路線名	運行日数 A ※平日	年間 利用人数 (人/年) B	日平均 利用人数 (人/日) C=B/A	日運行距離 (km/日) D	ア 0.4人/km	イ 15%
					キロ当たり 利用人数 (人/km) C/D	収支率
明星ルート	243	15,802	65.03	153.12	0.42	21.5%
平山ルート	243	6,805	28.00	122.01	0.23	13.4%
合計	243	22,607	93.03	275.13	0.34	18.2%

ア 需要量に関する基準値 1段階目“見直し検討候補路線への選定基準”
 キロ当たり利用者数(年平均値)が0.4人/km以下

明星ルート クリア
 平山ルート 該当

イ 財政負担額に関する基準値：収支率が15%未満

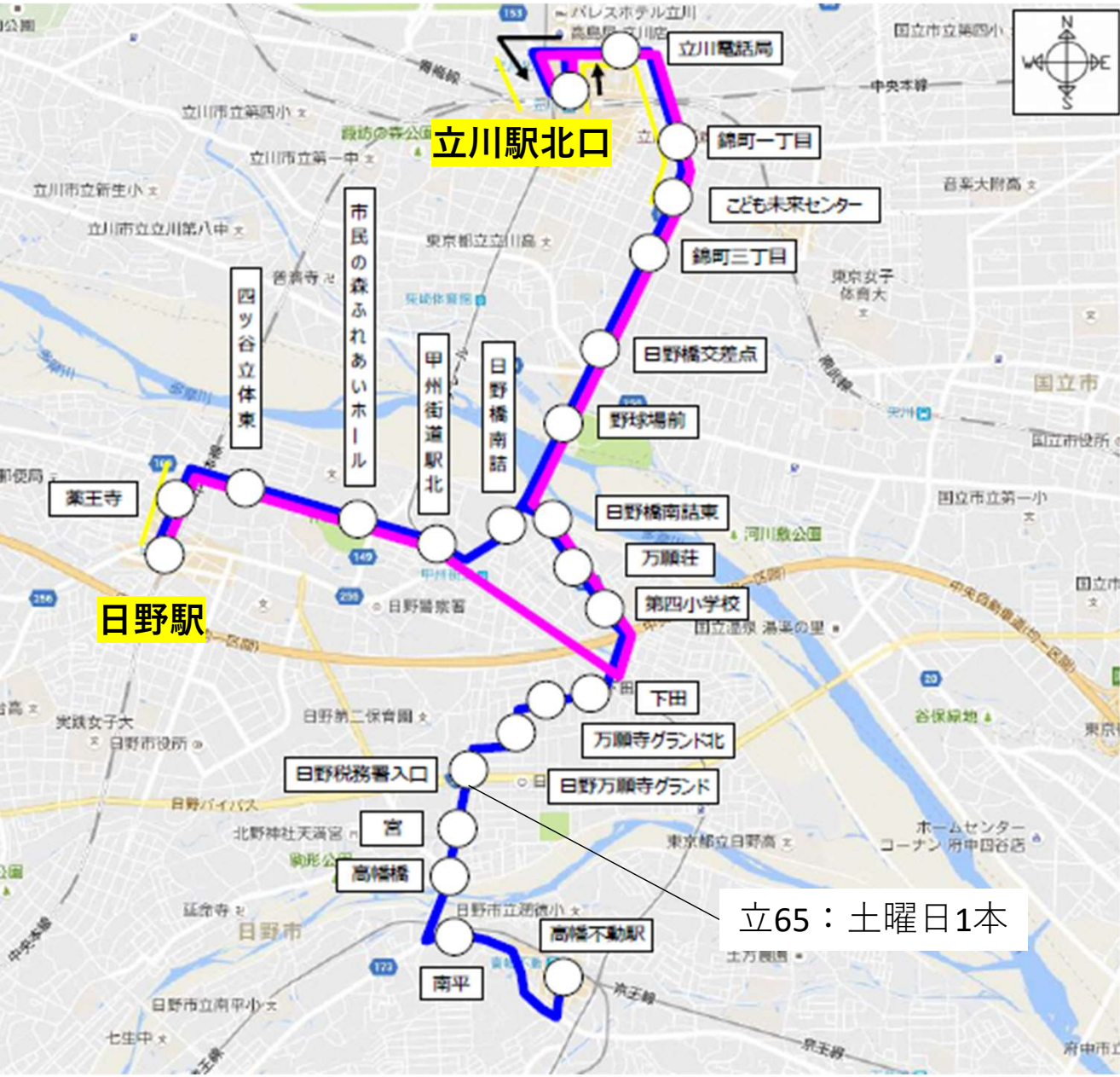
明星ルート クリア
 平山ルート 該当

【平山ルート】“見直し検討対象”に該当→

【結論】
 昨年度はコロナ禍という特殊要因であった。かつ、R5.5.1から実証運行を開始している新たな停留所【東豊田三丁目】の利用状況を注視しつつ、今年度は現状維持運行

(4) 路線バス立66の代替交通について(協議事項)

① 立66について



立66

【変更前】

- ・ 日野駅⇔立川駅北口
- ・ 1時間に1本

【変更後】

R5.4.1～

- ・ 日野駅⇔立川駅北口
- ・ 土曜日1本

【背景】

- ・ 平成10年以降の25年間で累積10億円以上の赤字計上
- ・ バス事業者として身を切る改革をしてきたが、**運行を維持するための収入が得られず維持困難**と判断されたもの

【要望書を受領】

- ① 京王バス立66路線運行終了に伴うミニバス運行を求める要望書(1560名の署名)
- ② 日野市東部地域住民有志

②要望への対応について



路線バス立65・66
により土曜日に
1本または2本



代替の公共交通を
検討していく

検討の原則：既存バス停を利用。 **シルバーパス補償金対象外**

(5) デマンド交通の導入検討について(報告事項)

前回交通会議の協議まとめ

項目	方向性
① 運行エリア	日野市南側丘陵地 交通空白地域
② 利用者	該当地域居住者 属性の制限なし
③ 運行時間	平日 日中
④ 料金	300円～400円

市内の**主要なタクシー事業者**へ
個別に意見交換して参りました



【意見概要】

- ・ 既存交通との**すみ分け**をしっかりとしてほしい
- ・ **タクシーの繁忙時間**は避けてほしい
- ・ **運転手の確保**が難しい
- ・ **費用をかけてまで**やる必要があるのかと思う
- ・ 社内で**調査研究**をしている
- ・ **補助金**は不可欠
- ・ **必要ないと思う**が協力はする
- ・ やるのであれば**百草地域が適地**ではないか
- ・ 実証実験として、**高幡不動駅**を停留所として設定してみて、**タクシーへの影響**を調べてみていいかもしれない
- ・ **他市の事例**で本格運行にならなかった事例も把握すべき
(多摩市(実施主体：京王電鉄株式会社 M a a S 検証/定時運行ワゴンバス、タクシー車両の相乗り))
- ・ 交通空白地域に森林や企業が含まれているので、**含めない方がいい**のではないかと

(6)モデル地域における住民ボランティア型交通の運行(報告事項)

日野市交通空白地域

南平5丁目地域

懸案事項

- ①車両の維持 ……調達、駐車場
- ②運転手の確保……高齢化、持続性、研修
- ③事故等の免責……保険、地域内の居心地

【既存サービス】

南平5丁目対象の“買い物お助けサービス”

(社会福祉法人による地域公益活動)

- ・月2回、2便、無料、つくしんぼ保育園⇔ヤオコー南平店

事例) 町田市「くらちゃん号」(詳細は次ページ)

- ・週2回、5便、無料、駅行のバス停に乗り継ぎ

南平5丁目地域(モデル地区)

【交通空白地域である要因】

- ・線路と川に挟まれている
- ・狭隘道路により公共交通の乗り入れ困難

既存サービスを事例のように
に拡大できないか?

課題

地域内に社会福祉法人が少ないため、特に運転手の確保が難しい

引き続き地元や関係部署と実現可能か検討

参考) 町田市 (住民ボランティア型交通)

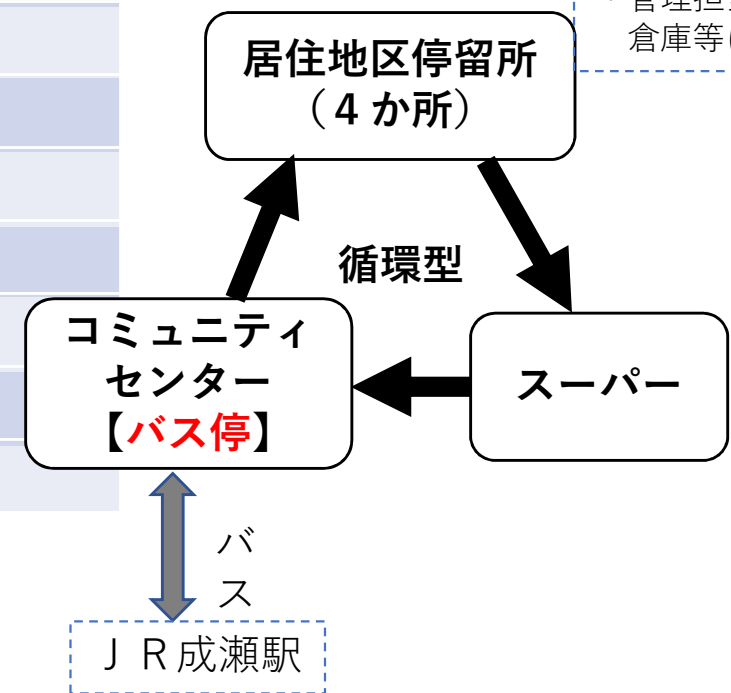
くらかけだい

町田市 鞍掛台自治会「くらちゃん号」



- ・ホームセンターでパーツ購入し手作りのバス停
- ・管理担当のお宅が倉庫等に保管

概要	
名称	くらちゃん号
運行主体	自治会
車両・運転	社会福祉法人 3社 (地域内) (車両・運転手・保険・燃料代等を負担)
運行形態	乗り合い
運行日	火・金曜日 (週2回)
運行回数	5便 (循環型)
料金	無料
利用制限	なし ※混雑時は高齢者優先
車両	ハイエースワゴン等 定員8名
予約方法	予約不要
自治体	周知・啓発に協力、広告費を助成。
利用実績	のべ10.7人/日 (R3.12)

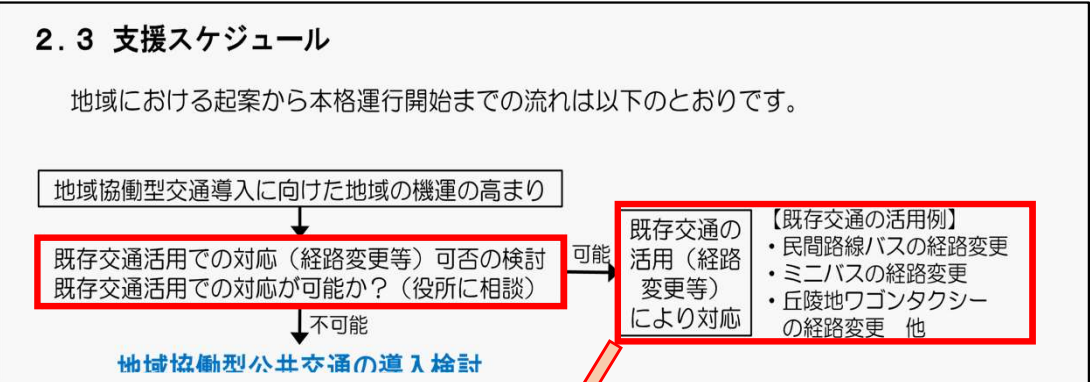


(7)東豊田3丁目交通空白地域の解消について(報告事項)

①経緯について

東豊田3丁目 交通空白地域の対策
踏切があり交通の導入が困難な地域

平成29年12月1日
「東豊田3丁目地域にミニバス運行を求める要望書」
(381名署名)



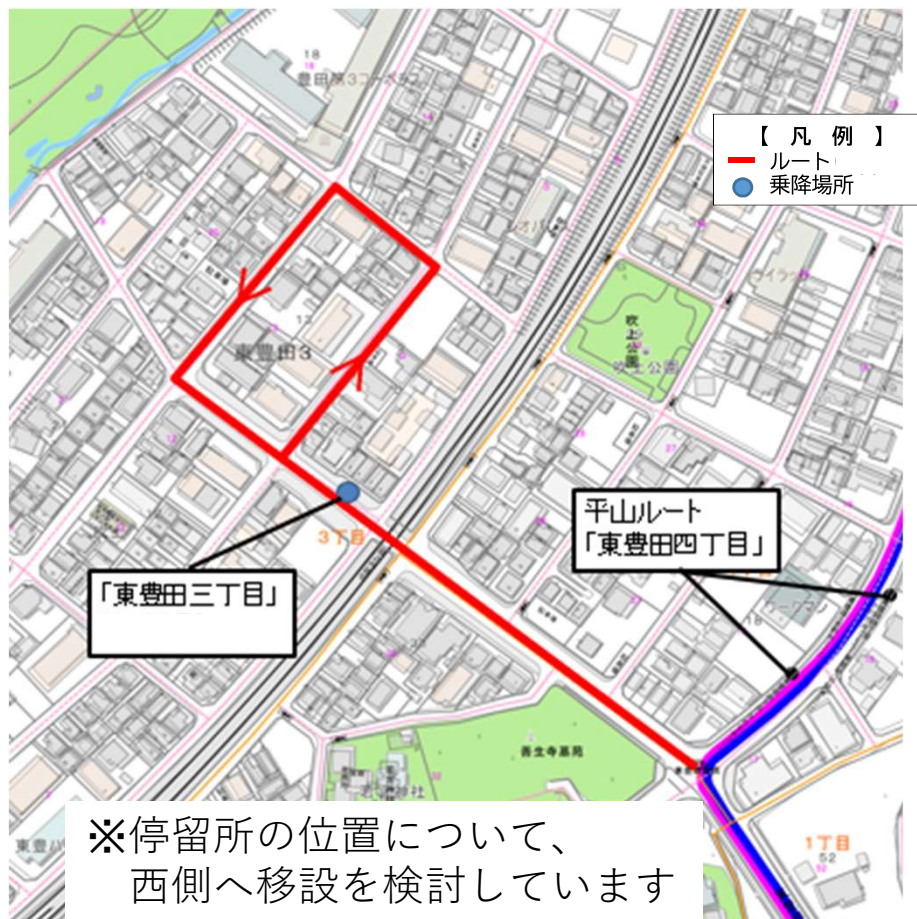
『地域協働型交通の導入ガイドライン(令和2年3月)』

既存交通(ワゴンタクシー)の活用を行った



『地域協働型交通の導入ガイドライン(令和2年3月)』より

②「東豊田3丁目」停留所 概要について



「いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。」
 (C)2017 PASCO CORPORATION.
 (C)2017 INCREMENT P CORPORATION.

概 要	
運行方法	ワゴンタクシーかわせみG o 平山ルート
運行日	平日のみ（土日祝日年末年始は運休）
運行本数	2往復（全7往復） 市立病院行 9：31、12：02 平山苑行 10：06、11：19
新規乗降場所	「東豊田三丁目」停留所
運賃	大人200円、小児100円（均一料金）
主な乗降場所	豊田駅南口 日野市役所 平山城址公園駅 日野市立病院
期間	2年間
運行開始日	令和5年5月1日

【利用状況】

	5月(20日間)	6月(22日間)
乗車	8名：市立病院行 6名：平山苑行	1名：市立病院行 12名：平山苑行
降車	1名：平山苑行	1名：市立病院行
合計	15名	14名

③交通空白地域の数値について

		交通空白地域	比率	備考
平成31年3月	面積(km2)	7.28	26.4%	高低差を加味し再定義
	人口(人)	39,861	21.4%	
令和元年6月20日	面積(km2)	7.25	26.3%	南平「南平四丁目」追加 ワゴン「芙蓉ハイツ」追加
	人口(人)	39,483	21.2%	
令和3年4月5日	面積(km2)	7.20	26.1%	南平「南平体育館入口」追加 市内「万願寺グラウンド北」追加
	人口(人)	38,841	20.8%	
令和4年4月1日	面積(km2)	7.19	26.1%	南平「南平四丁目」削除 南平「南平体育館」追加
	人口(人)	38,649	20.7%	
令和5年5月1日	面積(km2)	7.13	25.9%	ワゴン「東豊田三丁目」追加
	人口(人)	37,935	20.3%	

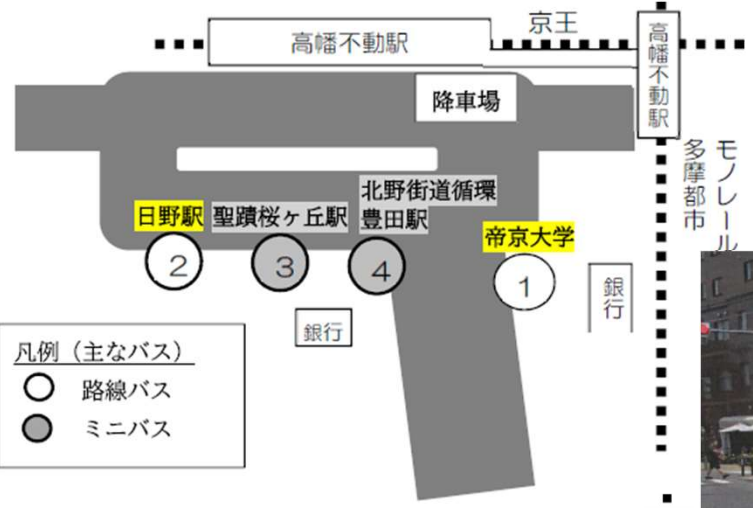
参考) 連携計画の目標値

評価指標	交通空白地域人口
現況値	39,861人(全人口の21%) ※H27国勢調査5次メッシュ人口より算出
目標値	30,000人

(8)高幡不動駅南口のバス停新設について(報告事項)

運用開始 7月3日(月)

変更前



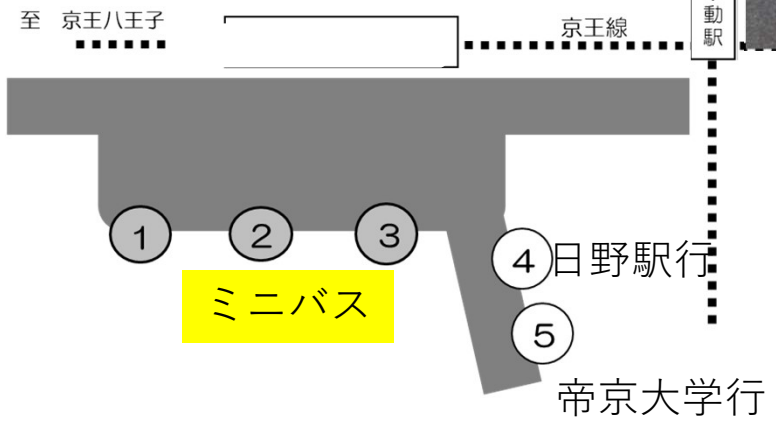
【設置目的】

待機バスを含めたロータリー内の飽和状態の解消と乗り場の明確化

【5番乗り場 バス待ち列の整理について】



変更後



京王バスと関係者による協議の結果、歩道に並べて、引続き警備員等により、他の通行の支障とならないように配慮していく